

【栃木県環境基本計画（素案）に対する提出意見とそれに対する栃木県の考え方】

- 1 市町からの意見  
 ●意見提出 : 1市  
 ●意見総数 : 6件

区分の凡例  
 A:計画案に反映させたもの  
 B:すでに素案に盛り込まれているもの  
 C:今後の施策の参考とするもの  
 D:計画案に反映できないもの

No.	項目	意見の内容	区分	意見に対する考え方	頁
1	第3章 施策の展開 1(2) 気候変動への適応について	この施策項目が、基本目標1 脱炭素社会を目指す「とちぎ」に関連付けられていることに違和感がある。	A	以下のとおり、基本目標を修正いたします。  脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」	9
2	第3章 施策の展開 2 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」について	「地域電源供給拠点」がわかりにくい。	A	以下のとおり注釈を追記するとともに、コラムを追加します。 ※太陽光発電設備など自立電源を有し、災害による停電時に避難所等に電気を供給することができる施設	11
3	第3章 施策の展開 2(1) 分散型エネルギーの自立化について	本施策項目を、以下のとおり修正してはどうか。  ・再エネを最大限活用した分散型エネルギーの自立化について	A	以下のとおり「施策の方向性」に記載します。  再生可能エネルギーを最大限活用しながら、水素エネルギーやコージェネレーションシステム等について、地域の実情等に応じて導入促進を図り	11
4	第4章 重点プロジェクト 1 気候変動対策プロジェクトについて	本プロジェクトの指標に適応に関する指標を設けるべきではないか。	A	令和2年12月の本県の脱炭素宣言を踏まえ、プロジェクト自体を以下のとおり変更します。 『1 2050年カーボンニュートラル実現プロジェクト』 また、同プロジェクトに新たに以下のとおり指標を設定します。 『再エネ電力自給率』	38
5	第4章 重点プロジェクト 2 自立・分散型エネルギー導入プロジェクトについて	本プロジェクトの指標である電力自給率を、「再エネによる電力自給率」にすべきではないか。	A	新たに指標「再エネ電力自給率」を設定するとともに、「電力自給率」との関係性を以下のとおり整理します。	38
				3章 施策の展開	【基本目標1】 脱炭素社会を目指す「とちぎ」 指標「再エネ電力自給率」を追加
					【基本目標2】 指標「電力自給率」で変

				自立分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」	更なし	
			4章 重点プロジェクト	1. 気候変動PJ ↓ 1. 2050年カーボンニュートラル実現PJ 2. 自立分散型エネルギー導入PJ	指標「再エネ電力自給率」を追加  指標「電力自給率」で変更なし	
6	第4章 重点プロジェクト 3 資源循環推進プロジェクトについて	本プロジェクトに関連する食品ロスやプラスチックごみ対策は、排出対策ではなく生産への対策に移行しているのではないか。そのため、指標は排出量以外の指標が良いのではないか。	C	本プロジェクトの進捗を図る指標としては、各段階における資源循環に向けた取組により、排出される廃棄物の減少を目指していることから、廃棄物の排出量を指標として設定しています。 なお、本プロジェクトに関連する取組にて排出量以外の指標の設定が可能かについては、個別計画ごとに検討を行ってまいります。		39

2 パブリックコメントで提出された意見

- 意見提出者数：1名、1団体
- 意見総数：4件

区分の凡例

- A: 計画案に反映させたもの
- B: すでに素案に盛り込まれているもの
- C: 今後の施策の参考とするもの
- D: 計画案に反映できないもの

No.	項目	意見の内容	区分	意見に対する考え方	頁
1	第3章 施策の展開 1 (1) 温室効果ガスの排出削減について	以下の文言を追記してはどうか。  ・環境負荷の低い電気・天然ガス・LNGへのエネルギー転換及びコージェネレーションシステム等の高効率設備の導入促進	A	以下のとおり追記します。  ・環境負荷の低い電気、天然ガス等へのエネルギー転換の促進 ・高効率なエネルギー供給システムの導入促進	7
2	第3章 施策の展開 2 (1) 分散型エネルギーの自	具体的取組「分散型エネルギーを活用した工場・事業所等に	A	以下のとおり「施策の方向性」に記載します。	11

	立化について	<p>おける電力自立化の促進」について、以下の文言へ修正してはどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>コージェネレーションシステム等の分散型エネルギー</u>を活用した工場・事業所等における電力自立化の促進</li> </ul>		<p>再生可能エネルギーを最大限活用しながら、水素エネルギーやコージェネレーションシステム等について、地域の実情等に応じて導入促進を図り</p>	
3	<p>第3章 施策の展開</p> <p>1 (1) 温室効果ガスの排出削減について</p> <p>2 (1) 分散型エネルギーの自立化について</p>	<p>具体的取組「高効率給湯器の普及やLED照明・省エネ家電製品への買換の促進」について、以下の文言へ修正してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率給湯器・<u>家庭用燃料電池（エネファーム）</u>の普及やLED照明・省エネ家電製品への買換の促進</li> </ul>	A	<p>以下のとおり追記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）・家庭用燃料電池（エネファーム）の普及やLED照明・省エネ家電製品への買換の促進</li> </ul>	7 12
4	<p>第3章 施策の展開</p> <p>共通施策(2) 持続可能な地域づくりについて</p>	<p>具体的取組「⑤人材の育成・活用と環境保全活動の場の提供」について、「活用」という単語の主体が不明瞭であるため、以下の文言へ修正してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動における県民の参加の機会の提供</li> </ul>	A	<p>人材の育成や環境保全活動を実施する施設の整備等も想定していることも踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動を担う人材の育成と県民の活動の機会の提供</li> </ul>	34